

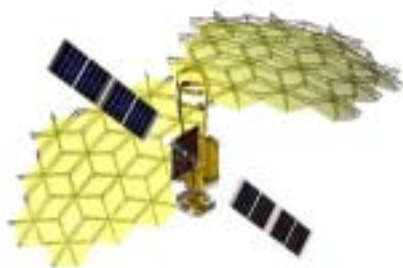
## S-band 移動体衛星通信用携帯端末

富士通では旧通信総合研究所のご指導の元、S-band 移動体衛星(例として ETS-)を介して通信できる携帯型の端末を開発しました。下記が特徴です。

現在はこの端末の評価と、データなども扱えるように改造中です。ビットレートは低いですが、従来の衛星地球局とは違う概念で開発した物です。

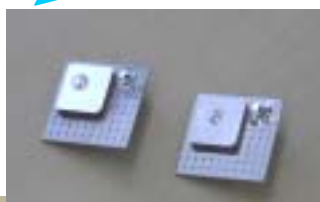
### 特徴

- 周波数 2.65 GHz (TX) / 2.5GHz (RX)
- アンテナ性能 送受別セラミックパッチアンテナ (端末内蔵型)  
(ピーク利得 3 dBi、ビーム幅 90 度)
- 送信電力 1W
- 無線系 8kbps BPSK-SCPC with FEC (R=1/2)
- 音声符号化 PSI-CELP
- 電源 ニッケル水素 2 次電池(単 3 または単 4x6 本)
- 通話時間 0.5 時間以上(単 3 使用時)
- 重量、容積 266 g & 264cc (TX & RX アンテナを含みバッテリーを含まず)



例として挙げた ETS- は 2005 年度打上げ予定の将来の移動体衛星通信実験衛星です。

内蔵されているセラミックパッチアンテナ



衛星携帯電話



PDA 型衛星電話